

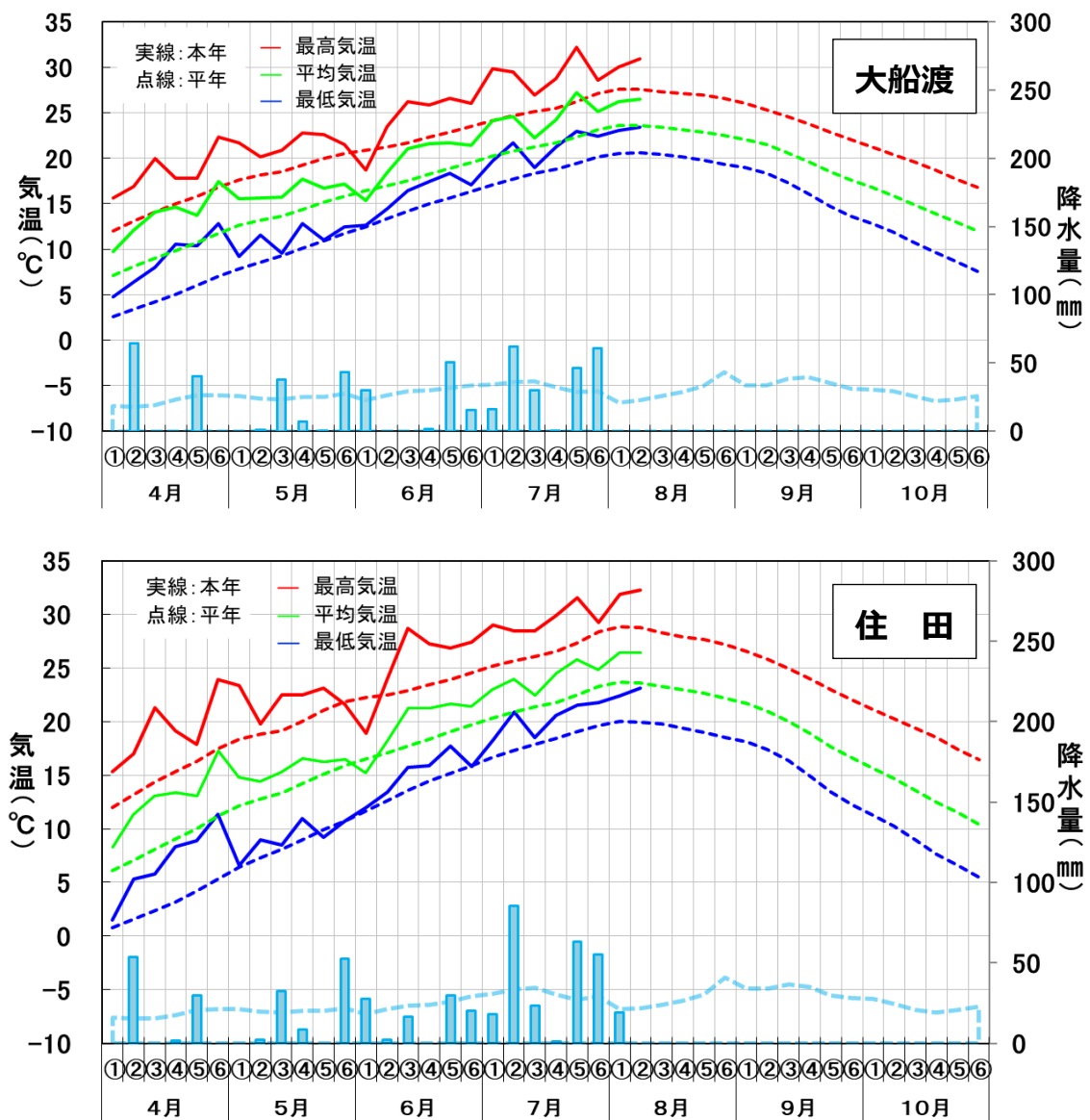
ピーマン技術情報 No. 2

★管理のポイント★

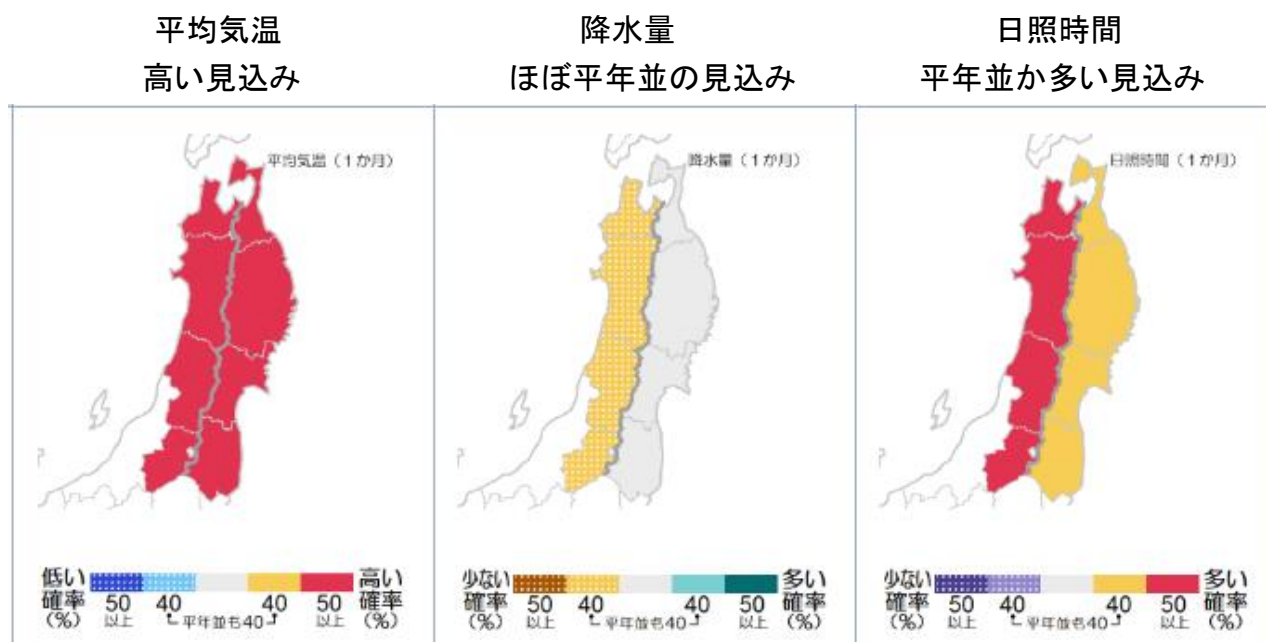
- ◇ハウス栽培では、気象条件に合わせて**温度管理**を行いましょう。
- ◇赤果などの**障害果発生防止**に努めましょう。
- ◇斑点病、タバコガ類などの**病害虫防除**を行いましょう。
- ◇**大雨・強風**に備えて、事前・事後対策を行いましょう。

1 気象経過と予報

(1) これまでの気象経過(観測地点:大船渡・住田)



(2) 今後の気象について(仙台管区気象台1か月予報 8/10～9/9)



2 後半の栽培管理について

(1) かん水

予報では平年より気温が高い見込みです。気象条件に合わせてかん水を行いましょう。

9月：露地栽培は株あたり2L

ハウス栽培は、株あたり約3L（曇り）～約4L（晴れ）が目安です。

10月：露地栽培は株あたり1L

ハウス栽培は、株あたり約2L（曇り）～約3L（晴れ）が目安です。

(2) 追肥

露地栽培：追肥は9月中旬までを目安に終了します。

ハウス栽培：気温低下とともに収穫量も減少するため、追肥量も減らし、翌年に肥料が残らないようにします。

(3) 温度管理（ハウス栽培）

気温は、最低気温 16℃をめぐに保温を開始します。

最高気温は 25～27℃を目標とし、32℃以上の高温としないようにします。

ハウスを閉め切ることが多くなると、湿度が上昇し、病気が発生しやすくなるので、日中は少しでも換気を行い、ハウス内の空気を動かしましょう。

(4) 生理障害果の発生防止

赤果

乾燥や草勢低下により、肥大に日数がかかることで発生する障害果。

〈対策〉

- ・ 追肥や垂れ枝の整理をして草勢を維持する。
- ・ その他の障害果や変形果を早めに摘果し、着果負担をかけない。
- ・ 高温期は果実の肥大速度が上がるため、早めの収穫を心がける。

※開花～収穫までにかかる日数は、低温期で 25～30 日、高温期で 17～20 日程度。



赤果が発生し始めた様子



赤果の様子

(5) 病虫害防除

タバコガ類

- ・ 果実に穴をあけ、果実内部を食害する。
- ・ 食害が進むと、表皮だけが残りに、果肉が腐敗したように見える。

〈対策〉

- ・ 幼虫が果実内に入ると、防除効果が劣るため、早期発見、薬剤散布を行う。



果実に穴が開いた様子



食害している幼虫

斑点病 20℃前後、多湿条件で発生する。潜伏期間は、7～10 日と長い。 〈対策〉発病後の薬剤防除では効果が出にくいいため、発生前の予防散布と発生初期の薬剤散布を行う。	
	
葉に発生した斑点症状	多発すると果梗に発生することがある

3 大雨・強風対策について

(1) 事前対策

- ① 収穫可能な果実はできるだけ事前に収穫します。
- ② パイプハウスは、ハウスバンド（マイカ線）が切れていないか、緩んでいないかを点検するとともに、ビニールの破損があれば補修しておきます。
- ③ 強風で支柱が抜けたり、倒伏したりする恐れがあるので、畦の両端や畦の所々で支柱を補強し、株の倒伏を防ぎます。
- ④ 支柱・ネット等への茎葉の誘引状況を点検し、しっかり固定します。

(2) 事後対策

- ① 滞水しているところでは、圃場周囲の排水溝の補修により速やかな排水を図りましょう。
- ② 病害予防のため、殺菌剤の散布を行いましょう。
- ③ 草勢回復を図るため、液肥の葉面散布を行いましょう。

☆☆☆**農薬危害防止運動実施中（6/1～8/31）**☆☆☆

使った農薬は使用履歴を記帳し、適正使用を徹底しましょう。

ラベル記載の「適用作物名、使用数量（希釈倍率）、使用時期、使用回数」は要チェック！

☆☆**熱中症に注意！**☆☆

適度な休憩、水分補給を心がけ、熱中症に気を付けましょう。

☆☆**いわてアグリベンチャーネットもご覧ください！**☆☆

URL： <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>

岩手県内の農業技術情報や病害虫に関する情報、各地域の情報など掲載中！